

「令和5年度対外発信強化のための中南米日系人招へい」事業への参加者募集

1. 事業概要

(1) 目的

日本の正しい姿、政策などを現地社会で効果的に広報・発信するため、これに貢献する意欲を有し、かつ現時点で既に発信力が高い中南米日系人、親日派・知日派の中南米日系人を発掘・招へいし、日本として発信すべき事項につき理解を深めていただき、もって招へい実施後の現地社会での対外発信強化を図る。

(2) 日程

令和5年**11月12日（日）日本着、20日（月）日本発**

(3) 招へい人数

中南米諸国から7名

(4) 対象者

- ・ **日系人**で、およそ22歳以上、50歳未満であること。
- ・ メディア、SNS、ブログ等を通じた発信力、影響力のある日系人で、**本プログラム中及び帰国後、日本について継続的に発信を行う強い意欲があること。**
- ・ 滞在中のプログラム（英語での実施を予定）に参加できる**一定の英語力を有すること。**

- ・帰国後に訪日レポートを提出すること。また**メディア、SNS、ブログ等を通じて**

日本のことを発信すること。

- ・帰国後3か月以内に自主運営による帰国報告会を実施すること。会の態様は特に問わず、被招へい者が自主的に企画・運営可能な範囲で差し支えない。

(5) 主なプログラム（予定）

ア 我が国政府要人への表敬

イ 外部有識者の講義

ウ 外務省による外交政策ブリーフ

エ 外務省中南米局各国担当官との懇談

オ 都内視察

カ 地方視察

(6) 費用負担

日本政府は、往復国際航空運賃（ディスカウント・エコノミー・クラス）、宿泊費、食費、日本国内移動費、保険費用等を負担する。

自由行動、私用、土産物、通信、クリーニング等に要する費用は被招へい者本人の負担とする。

2. 応募関連

(1) 締め切り：8月4日（金）

応募者に対する当館担当者による面接がありえます。なお、面接をした場合も必ずしもその方が採用されるものではありません。

(2) 応募における必要事項等

- ・ 名前（カタカナ及びローマ字）、生年月日、年齢、性別
- ・ 職業、肩書き
- ・ 日系団体に所属する場合はその所属の団体、役職
- ・ **日系何世か**。ルーツを持つ都道府県
- ・ 訪日経験（有る場合、訪日年、訪日回数、訪日目的及び訪問先等の詳細）
- ・ 語学力（スペイン語、ポルトガル語、英語、日本語のレベル）（それぞれ「自由討議可能」、「意見交換可能」、「挨拶程度」から選択）（資格等を所持している場合はその旨明記）

- ・ **メディア、SNS、ブログ等を通じた現在の発信力**

- ・ 日本に関する関心事項（あれば）

- ・ **履歴書**を提出すること。

- ・ **小論文**（A4で1枚程度。日本語あるいはスペイン語。）を提出すること。テーマ

は「今次招へいへの参加を通じて期待すること」。

(3) 応募先及び本件問い合わせ先

在ボリビア日本国大使館（領事班）

住所：Calle Rosendo Gutierrez No. 497, esq. Sanchez Lima, La Paz, Bolivia (P.O.
Box 2725)

http://www.bo.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html

Email： consul.lpz@lz.mofa.go.jp （領事班）